

5/19(金)18:00-19:00 「2022年度決算 IR 電話会議」説明要旨

1. 小宮 CEO プレゼン

- 皆様、こんばんは。小宮でございます。本日はお忙しいところ、ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には日頃より当社をご支援いただき、感謝申し上げます。
- 電話会議の皮切りとして、まず私から、「今回の決算内容」と「これらを踏まえました、経営からのメッセージ」につき、ご説明させていただきます。

【Key messages】

- それでは、資料の 3 ページをお開き下さい。本日本日お伝えしたいポイントは、大きく 3 点となります。
- 1 点目は、「2022 年度の実績」についてです。
Actual ベースの修正純利益は「**4,440 億円**」と、コロナ損失や自然災害などの影響を相応に受けた訳ですが、こうした「一過性の影響」を除いた **Normalized** ベースの利益は、「**6,171 億円**」となりました。
- 直近 2 月には、「**Normalized** ベースの通期利益として、**5,800 億円**程度を見込む」と、公表しておりましたが、これを、「**+361 億円**」上回るなど、グループ一体経営の充実をベースに、「実力は着実に、相応に高まってきている」、そう申し上げてよろしいかと思えます。
- 続いて 2 点目ですが、**2023 年度**の修正純利益予想は、高めた実力を背景に、「**6,700 億円**」とさせていただきたいと思えます。
これは、前年度の **Normalized** 利益対比で **+9%** 成長、除く為替でも **+8%** 成長となる水準です。
- 成長のドライバーは、レートアップや引受拡大を背景としました「保険引受利益の拡大」。そして、米国の金利上昇などを捉えました「インカム収益の拡大」であります。
また、これらに加えまして、「政策株式の売却」ですが、昨年秋に、「**2023 年度**の売却金額を **1,200~1,300 億円**に」、「次期中計には、現在の **1.5 倍**程度に売却を加速したい」と申し上げましたところ、今般、これらを前倒し、「**2023 年から 1,500 億円**を売却する」、具体的には「**2026 年度**までの向こう **4 年間**で **6,000 億円**以上を売却」することといたしましたので、これらも、利益予想を押し上げます。
- そして、**3 点目**ですが、こうした私共の事業の「強い利益成長」と、「株主の皆さまへの還元」は、「整合的であってしかるべきだ」、という考えは、依然として引続き変わっておりません。
- **2022 年度**の **DPS** は、年初計画通り **100 円**、**DPS Growth** で **+18%**といたしますし、

2023年度のDPSにつきましても、DPS Growthで+21%となります「121円」と、「利益成長と統合的な増配」を、引続き実現してまいります。

- また、資本ストックに関しましても、規律ある資本政策を実行してまいります。足元ESRは124%と、充実した水準であると認識しております。
その中で自己株取得ですが、現時点では、「年間を通じて1,000億円」を、機動的に実行する方針とし、本日、最初の一步として、500億円を決議しております。
- それでは、これらのポイントを、もう少しだけ詳細にご説明していきたいと思っております。
4ページをご覧ください。

【トップライン】

- 先ず、トップラインです。
- 2022年度の実績ですが、「正味収入保険料」は、対前年+15%の増収、「生命保険料」は、同じく+8%の増収となりました。国内外、生損保共に順調に推移しており、基調は「好調」です。
- その中で、2023年度の通期予想ですが、「正味収入保険料」は、レートアップや引受拡大をドライバーに、対前年+3%の堅調な増収を見込んでおります。
「生命保険料」は、引続き国内事業保険の解約などを織り込み、対前年▲4%の減収とはなりますが、基調は、悪くありません。
- 次に、修正純利益についてご説明しますので、5ページをお開きください。

【修正純利益(2022実績、実額ベース)】

- 修正純利益の2022年度実績は、4,440億円と、通期予想対比では、+440億円上振れて着地しました。
その中身を見てみますと、国内の東京海上日動におきまして、自然災害やコロナといった「一過性の影響」が予想を下回ったこと。これに加えまして、海上や自動車、或いは「あんしん生命」におきましても、発生保険金が予想を下回ったことから、出来上がりの利益は上振れて着地しました。

これらは、「2022年度のActualの数字」となりますが、一過性の影響を除いたNormalizedベースでの評価につきましてご説明しますので、6ページをお開きください。

【修正純利益(2022実績、Normalizedベース)】

- 2022年度のActualの修正純利益「4,440億円」から、コロナ損失や自然災害、北米のキャピタル損益など、「一過性の影響」を除いたNormalizedの利益は、「6,171億円」となります。
- これは、「2021年度のNormalized利益」に対し、+22%の利益成長となる訳ですが、改めまして、「当社の実力は着実に高まっている」と申し上げてよろしいかと思っております。
- 続きまして、2023年度の通期予想についてご説明しますので、7ページをご覧ください。

【修正純利益(2023 通期予想)】

- 「修正純利益の 2023 年度通期予想を、6,700 億円としたこと」、そして「利益成長率は、Normalized ベースで+9%、除く為替で+8%であること」は、先ほどご説明の通りですが、内訳を見てみますと、国内の東京海上日動は、「ヘッジコストの増加」や「自動車損害率の上昇」を見込みますが、「火災保険の収支改善の継続」や「大口事故の減少」、そして「前期に計上しました、“外貨建て支払備金の積増し”の反動」等により、+11%成長です。海外は、「レートアップや、引受拡大を背景とした“保険引受利益の拡大”」と、「金利上昇などを捉えました“インカム収益の拡大”」をドライバーに、+6%成長、除く為替でも+5%成長を計画しています。

【小宮 CEO まとめ】

- 最後に、私からのまとめですが、2022 年度業績につきましては、ご説明の通り「一過性の影響」が相応に大きかった訳ですが、そうであるからこそ、経営といたしましては、①ローカルあつてのグローバルであり、個々の事業を強くしていくということ、②その上で、「グローバルなリスク分散戦略」と「グループ一体経営」の実行を通じて、経営・事業のレベルを引き上げていく、アップグレードさせていくということ。これらが、非常に重要だと考えております。
- しっかりと、そして一段と気を引き締めて、取り組んでまいりますし、こうした結果として、2023 年度も、その先も、「世界トップ・クラスの EPS Growth を実現していく」、「ROE も引き上げていく」、そうした強い想いを持って、経営にあたっていきたい。その様に考えておりますし、この辺りは、また来週の IR 説明会でご説明させていただきます。
- 私からのご説明は以上です。

2. 岡田 CFO プレゼン

【株主還元】

- CFO の岡田でございます。最後に、株主還元についてご説明させていただきますので、8 ページをお開き下さい。
- 改めまして、当社の株主還元の基本は配当で、「利益成長に応じて、持続的に DPS を高めていく」というものです。
- その中で、2022 年度の DPS ですが、先程、小宮からご説明の通り、2022 年度の修正純利益は、コロナ損失や自然災害などの影響を受けたものの、配当原資であります「5 年平均の修正純利益」は、「4,000 億円」に拡大しております。基調も「好調」でありますので、DPS は、年初計画通り「100 円」、DPS Growth も+18%とさせていただきたいと思えます。
- そして、2023 年度の DPS ですが、「6,700 億円」という強い利益成長を受け、配当原資は引き上がっておりますし、配当性向も、一昨年秋にお約束させていただいた通り 50%に引上げます。
これにより、DPS は「121 円」、DPS Growth は+21%とさせていただきます。
- なお、これは 12 期連続の増配となる訳ですが、この先も、配当原資を移動平均的に拡大させ、高い DPS Growth を実現してまいりたい、この様に考えております。
- 次に、資本ストックの調整についてですが、この考え方も変更はありません。
- 足元の ESR は 124%と充実した水準であるという認識です。
従いまして、当社といたしましては、「資本を、先ずは、当社の ROE、企業価値の向上に資する事業投資、リスクテイクに振り向けますし、そうした機会に恵まれなければ、資本を無用に積み上げる意図はありませんので、自己株取得を実行していく」こととなります。
- その中で今般の判断ですが、「現時点では、年間を通じて、1,000 億円の自己株取得を、機動的に実行する方針」とし、本日、最初の一步として、500 億円の実行を決議しております。
- 当社と致しましては、経営戦略を着実に実行し、EPS も ROE も、volatility を抑えながら、引き上げていく、そして、資本市場の皆さまのご期待に応えていきたい、この様に考えていますので、引続きのご支援をよろしくお願いいたします。
- 私からのご説明は以上です。

以 上